

### [夏越大祓式 茅輪神事]

半年間に降りかかった罪穢を人形に託してお祓いします。また茅輪をくぐることで来る夏が健全で無事に過ごせるよう祈願します。



### [例大祭 巫女の舞]

秋の例大祭には地元の小学生による巫女の舞が奉納されます。



### [境内パワースポット]

境内には一対のヒノキがある。「夫婦の樹」と呼ばれ、根が一体となっており、両樹の間をくぐると霊験があるという。



### 【ご利益】

夫婦和合  
縁結び  
良縁

### [交通アクセス]

国道 248 号「駕鴨町長根」交差点を東へ700m。



### [主な年中行事]

1月1日	歳旦祭(さいたんさい)
1月4日	新年交通安全祈願祭
1月成人の日	成人奉告祭
2月11日	建国祭
3月第1土曜日	祈年祭(きねんさい)
4月第1土曜日	水神社祭
6月30日	夏越大祓式
7月第2土曜日	津島社祭
8月第4土曜日	秋葉社祭
8月第4日曜日	熊野社祭
9月第1土曜日	二百十日祭
10月第2土曜日	例大祭
11月第3日曜日	七五三祭
12月第1土曜日	新嘗祭(にいなめさい)
12月31日	年越大祓式
毎月	月次祭

# 糟目春日神社



### [鎮座地]

愛知県豊田市渡刈町北田62番地4

### [電話・FAX番号]

0565-28-5487

### [ホームページ]

<http://www.kasumekasuga.com>



## 糟目春日神社(かすめかすがじんじゃ)

### [鎮座地]

愛知県豊田市渡刈町北田62番地4



### [由緒]

糟目春日神社は、伊勢湾岸自動車道の豊田東IC近く、国道248号線が交差する北の地にある神社。

『延喜式』巻9・10神名帳 東海道神 三河国 碧海郡「糟目神社」に比定される式内社(小社)の論社。近代社格では郷社。

創祀年代は不詳。渡刈町には、先土器時代の大明神遺跡、縄文時代の北田遺跡、西糟目遺跡、古墳時代後期の鳥狩塚古墳などがあり、古くから開けていた地。

古くは、塩指大明神とも称したという。昔は、旧社地である末野原一帯まで潮が満ちてきた。また、勝女神とも呼ぶが、これは「糟目」の社名からの転訛。

糟目の語源は、「河岸間(かしめ)」だといわれる。現在地も矢作川の西岸。

渡刈の地名は、持統上皇が大正2年(702年)に当地で鷹狩を行ったため、鳥捕・鳥狩と変化したものだという

伝承がある。「持統天皇鳥狩記念の塚」がある。

『続日本紀』にも三河国へ行幸したという記述はある。『万葉集』には下記の歌があり、「末の腹野」が、旧社地の末野原だとする説がある。

梓弓 末の腹野に 鳥狩する

君が弓弦の 絶えむと思へや

式内社「糟目神社」は、『日本文徳天皇実録』仁寿元年(851年)10月7日に従五位下が授けられている。『三河国内神名帳』には「正四位下 糟目明神」とある。

式内社「糟目神社」の他の論社に、もとは式内社名を称した岡崎市の糟目犬頭神社があり、近世末期には両者間で論争があった。

最終的に、当社が式内認定を受けたが、明治5年(1872年)、糟目の下に春日が加えられ、現社号に改称、郷社に列した。

明治39年(1906年)4月、神饌幣帛料供進社に指定された。大正2年(1913年)、無格社熊野社を合祀した。それまでも矢作川の洪水により何度か社地の変遷があったようだが、大正3年(1914年)、現社地に遷座した。

これ以降、社地の拡大、整備が進み、神殿8棟を新築した。昭和52年(1977年)10月、幣殿・祭祀殿を再建した。平成12年(2000年)10月現在の手水舎を新設し、平成25年(2013年)10月社務所を再建した。



### [御祭神]

天宇受売命(あめのうずめのみこと)

彦火火出見命(ひこほほでみのみこと)

素戔嗚命(すさのおのみこと)

火産靈命(ほむすびのみこと)



### [境内末社]

津島社 素戔嗚命(すさのおのみこと)

秋葉社 迦具土神(かぐつちのかみ)

山神社 大山祇神(おおやまつみのかみ)



### [社殿]

本殿・拝殿・神門・廻廊・神饌所・社務所・神楽殿

[境内広さ] 917坪